

1月1日付け読売新聞朝刊の報道について

「幼稚園から義務教育」について

1月1日付けの読売新聞朝刊に「『幼稚園から義務教育』について」の記事が掲載されたことにより、全日私幼連は、この件にかかる事実関係等を文部科学省に照会しました。

その結果、文科省は、ホームページに「政府としてこうした方針を固めた事実はありません」とのコメントを掲載しましたので、お知らせいたします。コメントは下記のとおりです。

平成18年1月1日付け読売新聞朝刊の報道（幼稚園から義務教育）について

1月1日付け読売新聞朝刊において、「政府・与党は、小中学校の9年間と定められている義務教育に幼稚園などの幼児教育を加え、期間を10～11年程度に延長する方針を固めた」との記事が掲載されました。

しかしながら、政府としてこうした方針を固めた事実はありません。

文部科学省としては、幼児教育と小学校教育の連携・接続の強化・改善など今後の幼児教育の在り方についての中央教育審議会答申（平成17年1月）、今後の義務教育の在り方についての中央教育審議会答申（平成17年10月）等を踏まえ、幼児教育、義務教育の充実に取り組んでいきたいと考えています。

（初等中等教育局幼児教育課）